

平成 30 年 10 月 12 日

関係者各位

椋山女学園大学 国際コミュニケーション学部
学部長 水島 和則

教員の公募について（依頼）

椋山女学園大学国際コミュニケーション学部では、以下の要領で採用人事をすすめております。ご応募をお待ちしております。

- [専門分野] コミュニケーション学（異文化・国際）およびその関連分野
（本学部の基幹科目である各種文化・コミュニケーション系科目を異文化交流・国際交流・多文化共生・多文化協働の視座に立って研究・教育する）
- [担当科目] コミュニケーション論、比較文化論、異文化トレーニング（理論と実践）、卒業論文指導、その他にも教養科目を担当できること
- [その他の業務] ①学部運営（オープンキャンパス、入試、各種委員会等）
②各種留学プログラムの担当
③入試問題作成
以上の業務を日本語で遂行できること
- [職名・人員] 教授、准教授、または専任講師・1名
- [応募資格] 以下の①～④の各項目に該当する者
- ①博士後期課程単位取得満期退学者（予定者も含む）、または前期課程（修士課程）修了後3年以上の研究教育歴を有する者。博士号（Ph.D.）取得、またはそれと同等の研究業績を有する者。
- ②異文化交流・国際交流（外交なども含む）・多文化共生・多文化協働などの視点から研究・教育を行うことができる者。同時に、学生に対して異文化交流や国際交流の機会を授業内外で提供できる者。コミュニケーション学（Communication Studies）の学問的背景、もしくはその知見を持っていることが望ましい。
- ③海外での学会発表の経験、あるいは日本語以外の言語で論文を発表した経験を有すること
- ④英語で専門科目（担当予定科目）の授業が遂行できること
- ※ 国連やJICA等の国際貢献・国際協力機関、または公益財団法人等の国際センターや、国際化推進機関での勤務歴や都道府県レベルで国際交流の運営に携わった経験のある者、また青年海外協力隊などで国際貢献の実践経験と異文化適応訓練の指導あるいは自身が受けた経験を有する者などを歓迎するが、これらは応募に必須の条件ではない。

- [応募締切] 平成30年11月20日(火) 必着
- [採用予定日] 平成31年4月1日
- [処遇] 給与等処遇については、本学園規定による。
- [提出書類] ①履歴書(本学指定の様式に従って作成) 1部
②教育研究業績書(本学指定の様式に従って作成) 1部
(研究業績のうち査読有りの場合、「査読有」と明記する)
③主要な著書・論文の別刷り(コピー可) 3点
④教育方針、着任後の抱負を述べた文書(日本語1200~1500字・様式自由) 1部
⑤最終学歴の修了証明書または学位記の写し 1部
⑥応募者の教育研究能力、業績及び人物について熟知する者の推薦書(様式自由、応募者について問い合わせることができる方とその連絡先を明記、要押印) 2通(2名分)、推薦書に関しては別送でも可とする。ただし、11月30日(金) 必着のこと
⑦「異文化トレーニング(理論と実践)」の授業、15回分のシラバス(本学指定の様式に従って作成) 1部、40名程度の履修者を想定し、必ずシミュレーションを取り入れること。また、その他、授業で用いる異文化トレーニングについても、どのような訓練方法を取り入れるかがわかるように記すこと
- ※ ①履歴書と②教育研究業績書はホチキス留めしないこと
- [その他] ①赴任後は、名古屋市またはその周辺地域に居住し通勤できる者。
②書類選考の上、面接・模擬授業を実施する。12月中旬までに対象者にのみ通知する。
③上記提出書類は原則として返却しない。ただし、著書、論文等の現物が提出された場合には申し出により選考後に返却する。返却希望の場合、その旨を明記のうえ、返信用封筒(送付先記載、切手貼付)を同封すること。
④選考にあたる交通費等の経費は自己負担とする。
⑤提出された個人情報、本学園の「個人情報保護規程」に従って適正に管理し、人事選考以外の目的には使用することはない。
⑥応募様式のダウンロード先
<http://www.sugiyama-u.ac.jp/gakuen/recruit/>
- [提出先] 〒464-8662 愛知県名古屋市千種区星が丘元町 17-3
椋山女学園大学 国際コミュニケーション学部内
笠原 正秀 研究室 宛
- [問い合わせ先] 笠原正秀 kasahara@sugiyama-u.ac.jp